

船舶新聞

発行者 徳島県立徳島科学技術高等学校
 海洋科学コース3年 夏蓮
 発行日 令和二年八月三十一日
 三年 名前市村

船の色の違いとその魅力



『造船塗装とは！』

船の色は種類や用途により様々ですが、実は、船の塗装には様々な役割があります。「造船塗装」という言葉を聞いたことはありますか？日常生活では、中々耳にしない言葉だと思えます。造船塗装とは、船の種類・用途に合わせ船の色を塗る事です。

『造船塗装の重要な役割』

- ① 船底の保護
船底につきやすい貝類・海藻類の付着を防ぐ。
- ② 錆やカビの腐食を防ぐ
海水に濡れると船の腐食が早く進行するため、錆止めを行う。

『赤じゃなくてもOK！』

漁船 → 赤や青

プレジャーボート → 黒

ヨット → 白 等

色が決まっている訳ではない！

アルミ製の船では銅が入った塗料を使えない場合もある！

しかし

『大型船の船底は赤い！？』

貝類・海藻類など水生生物が付着

重量が増し、水流の抵抗も増加するため航行に大きなエネルギーロスをもたらす。スピードが落ち、燃費が悪くなり、経済的にも負担。

理由

その為、防汚塗料が塗装。この塗料は樹脂、ロジン、防汚剤でできており、この防汚剤の主成分が亜酸化銅であり、これ自体が赤い（銅色）ので、塗料として製品化する際にも赤色系が多い。

貨物船など大型の船では、喫水の線（船舶が浮かんた時の水面際の線）付近より下の部分が、赤く塗られている場合が多い。

必殺!?豆識!
なぜ船って白いの？

古くから、船舶を女性と見なす海洋文化があり、高貴な身分の婦人と例えることが通常でした。そのため、高貴な色である白色が用いられた。さらに、エアコンが発明されていない時代、夏季の太陽光により、船室が高温になりました。白色は太陽光を吸収しにくいため用いられたともいわれている。そのうえ、白色以外だと船体を濡らし、海水が乾いた後、船体に白い汚れ（潮の結晶）が目立ちやすくなるため、白色を使うことが多いといわれている。



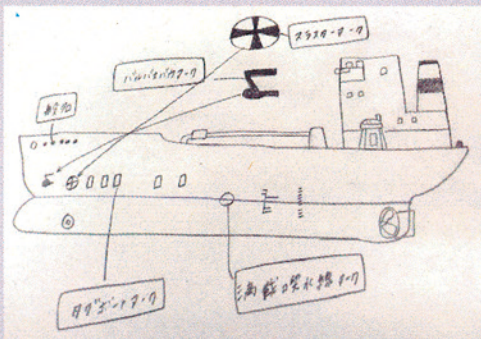
<https://yahoo.jp/O01B2G>



<https://trafficnews.jp/photo/79513#photo1>

編集後記

船舶は、奥が深く調べれば調べる程、知らなかったことを知ることができた。更に、船への興味が増え、船の歴史について、より深く調べたいと思った。



船の標識って知ってる？

船の側面には様々な文字や数字、マークが描かれている。それぞれに世界共通の意味があり、どのような船なのか、一目でわかるようになっていく。船の目印のようなもの。船が港に入ってきたときの対応など、大きな船体を取りあつかう上でとても重要！